

芦屋市立美術博物館は、1991年に芦屋市制施行50周年記念事業として開館いたしました。美術部門と歴史部門を併せた複合施設として、芦屋ゆかりの作家の作品を中心に内外の名品をご覧ください。また、芦屋の自然や歴史を実際に目で確かめ体験する学習の場として、皆様に親しまれる身近な文化施設となることを目指しています。

### アートスタディプログラム2018 Mana-Bihaku / まなびはく

美術作家や美術史家、小説家の方々と一緒に、芸術の面白さ、楽しさ、難しさを発見していく講座を開催します。

※その他、展覧会関連イベントなど様々な催しを予定しています。  
詳細は随時当館HPで公開します。

### イベント情報 ART MARKET あしやつくる場

毎年、春(5/19、5/20)、秋(開催日未定)に当館のお庭に手作りマーケットやワークショップの出店者が集まります。“つくる”ことから生まれる喜びや発見を共有する2日間です。



### 小出檜重アトリエ

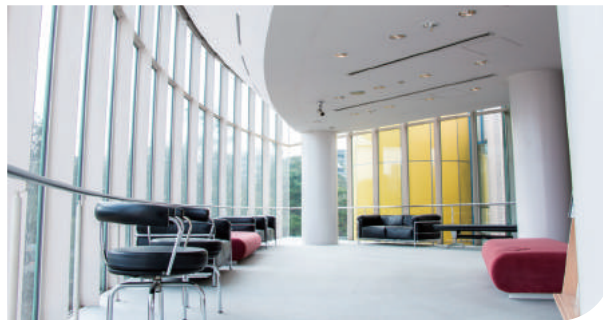
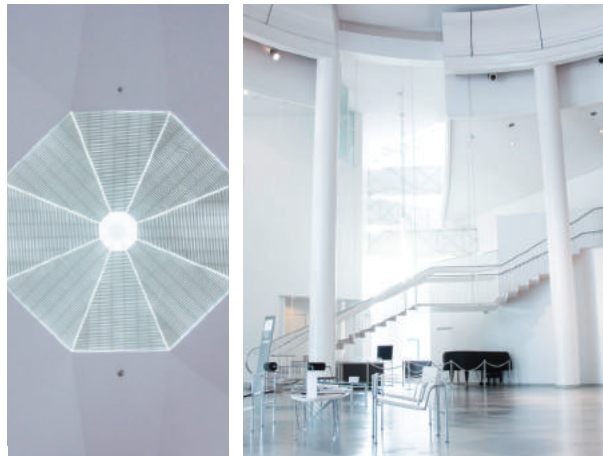
洋画家・小出檜重のアトリエを復元し、愛用の画材やモチーフなどの遺品、資料を展示しています。美術博物館開館中はどなたも無料でご覧いただけます。



### 喫茶

#### Café de Repos カフェ・ド・ルポ

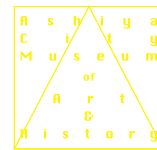
美術博物館のお庭に隣接する喫茶店。特別展に合わせ期間限定のデザートメニューもご用意しております。9:00-17:00まで。



## 芦屋市立美術博物館

〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12-25  
TEL : 0797-38-5432 FAX : 0797-38-5434  
<http://ashiya-museum.jp>

# Ashiya City Museum of Art & History



## Exhibitions Schedule

2018.4  
↓  
2019.3

芦屋市立美術博物館 展覧会スケジュール

### ご利用案内

開館時間 | 10:00~17:00(入館は16:30まで)

休館日 | 月曜日(祝日の場合は開館、翌火曜日休館)  
年末年始、展示替え期間中

#### 観覧料

一般 300(240)円 / 大高生 200(160)円 / 小中学生 無料

展覧会によって料金が異なる場合があります。

※( )内は20名以上の団体料金です。

※高齢者(65歳以上)および身体障がい者手帳・精神障がい者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちのかたとその介護のかたは各当日料金の半額になります。

#### 駐車場使用料

30分100円(8:00-20:00) / 60分100円(20:00-8:00)

※当館利用者は1時間無料

#### 施設使用料

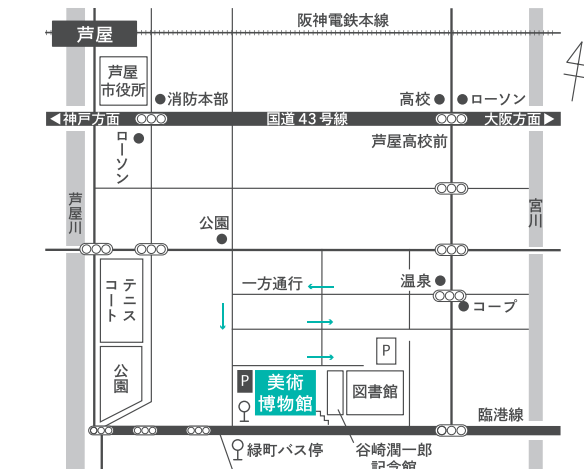
区分	10:00-12:00	13:00-16:30	10:00-16:30
講義室	2,800円	4,300円	7,100円
体験学習室	4,100円	6,700円	10,800円

### 交通のご案内

徒歩 → 阪神電車芦屋駅から南東へ約15分

阪急バス → 「新浜町」行きまたは「芦屋市総合公園前」行き乗車  
(31、32、35、36、131系統)、「緑町(美術博物館前)」停留所下車

バス乗り場 → 阪神電車芦屋駅から：南側2番のりば  
JR芦屋駅から：北側5番のりば、阪急芦屋川駅から：南側5番のりば



4月14日(土) → 6月17日(日)

saïson

## 万葉のセゾン

—奈良県立万葉文化館 季節のコレクション—



平山郁夫《額田王》平成9(1997)年



上村松篁《春愁》平成10(1998)年

※全て奈良県立万葉文化館蔵

奈良県立万葉文化館蔵「万葉日本画」は、『万葉集』をテーマに制作されました。平山郁夫、上村松篁などの戦後を代表する画家が『万葉集』を解釈し、イメージをふくらませて描いた作品には、『万葉集』の中に息づく自然へのまなざしと現代の画家の感性が交差しています。日本では、古来より四季の移り変わりが人々の注目を集めていました。最古の歌集である『万葉集』でも、重要な役割を果たしているそれぞれの季節（セゾン）の美しさをお楽しみいただけます。

12月8日(土) → 2019年2月11日(月・祝)

コレクション展

## 星のような —のこすこと / のこされるもの—(仮称)



左から萩須高徳、大橋了介、1人おいて佐伯祐三、山口長男(モランにて、1928年) 大橋了介資料より

美術館では作品とともに、スケッチ帳や日記帳、手書きの原稿といった関係資料も大切に保管しています。中には家族への手紙や絵葉書、スナップ写真、日記帳などがあり、これらは私的な資料でありながら、その時代の美術の歴史を紐解く重要な事柄が隠れています。この度、小出橋重や大橋了介、伊藤継郎のほか、芦屋カメラクラブや具体美術協会の関係資料などを作品とともに紹介し、作家像やグループ像を探ります。

7月1日(日) → 9月9日(日)

## チャベック兄弟と子どもの世界



ヨゼフ・チャベック 《朝》 油彩・カンヴァス 1928年、個人蔵

「ロボット」という言葉の生みの親としても知られるチェコの作家カレル・チャベック。絵本「長い長いお医者さんの話」や「こいぬとこねこはゆかいな仲間」の挿絵などにより、日本でも人気の高い兄のヨゼフ・チャベック。本展では、ヨゼフの油彩やパステル画、絵本原画、カレルによる愛犬「ダーシェンカ」のデッサンなど、初公開を含む幅広い作品により、チャベック兄弟の温かい眼差しから生み出された子どものための芸術を紹介いたします。

2019年2月16日(土) → 2月24日(日)

## 第36回 芦屋市造形教育展



第35回 芦屋市造形教育展の様子 2018年(参考)

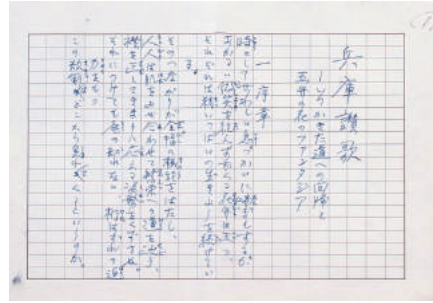
市内の幼稚園・小学校・中学校の子どもたちの作品を全館にわたり展示します。

主催:芦屋市教育委員会、芦屋市造形教育研究会

9月22日(土) → 11月25日(日)

## 富田碎花展

—受け継がれる詞—



兵庫讃歌直筆原稿



富田碎花

富田碎花は、岩手県盛岡市生まれの詩人です。大正2(1913)年に病氣療養のため芦屋を訪れ、以来亡くなるまで芦屋ですごしました。芦屋をはじめ兵庫県の各地を訪れ、長編詩「兵庫讃歌」を発表したほか、芦屋市内の小学校など50以上の校歌や市町村歌を作詞したことから「兵庫県文化の父」と呼ばれています。本展では、多岐に渡る碎花の詩作活動の中から、特に校歌や市町村歌に焦点を当て、数々の直筆資料を通して、芦屋を愛した碎花の文学人生に迫ります。

7月1日(日) → 11月25日(日)

## 芦屋の歴史と文化財

2012年に芦屋市指定文化財に指定された「芦屋川の文化的景観」が育んできた芦屋の歴史をご覧ください。芦屋の歴史を古代、中世・近世、近代にわけ、それぞれの時代の主要な歴史資料をご紹介します(期間中展示替えがあります)。

12月8日(土) → 2019年2月24日(日)

## 昔の暮らし

昔の人が大事に使っていた資料を通して、道具や暮らしが変わってきたことには、人々のどんな知恵や願いが込められていたのかを考えます。今の暮らしができるようになった道具の進化や、人々の工夫をご覧ください。



靴形種輪 (打出小樋古墳出土)



おひつ(昭和時代)

## Opening calendar 2018-2019

2018	4	5	6																	
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5						1	2		
8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
29	30	27	28	29	30	31								24	25	26	27	28	29	30
7	8	9																		
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4							1			
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22
29	30	31	26	27	28	29	30	31	23	24	25	26	27	28	29	30				
10	11	12																		
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	1	2	3							1					
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	2	3	4	5	6	7	8
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	15
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	16	17	18	19	20	21	22
28	29	30	31	25	26	27	28	29	30	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
2019	1	2	3																	
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	1	2							1	2						
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	3	4	5	6	7	8	9
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	10	11	12	13	14	15	16
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	17	18	19	20	21	22	23
27	28	29	30	31	24	25	26	27	28	24	25	26	27	28	29	30	31			

※その他の期間は休館日となります。また都合によりスケジュール・内容が変更になる場合がございます。